

飼料用米を活かす日本型循環畜産推進交流会
～飼料用米普及のためのシンポジウム2016～

おかやまコープにおける 飼料用米の活用と商品運動について

生活協同組合おかやまコープ

商品企画本部 山本 真路

2016年3月11日

おかやまコープの概要

◆ 事業内容 宅配・店舗・福祉・共済

(子会社) コープP&S、コープファームおかやま、ハートコープおかやま

- ・ 宅配 17 配送センター (宅配・夕食宅配)
- ・ 店舗 11 店舗
- ・ 共済 14 万人 福祉

◆ 組合員数：330, 174世帯 (43.7%)

◆ 事業高：386億円 (2014年度実績)

- 宅 配：263億円
- 店 舗：106億円
- その他：17億円

一人当たり利用高は
中国地方の生協の
中で最も高い

おかやまコープが「産直（産消直結） ・地産地消」で目指すもの

- 岡山の気候をいかした健康で豊かな食卓づくり
- 食料自給率の向上をめざし農と食がつながった社会
- 農産物の安全と地球環境の保全をめざす



持続可能な循環型社会をめざして、食と農が結びつく、自給力のある岡山へ

農業を取り巻く情勢

- ◆ 穀物の相場高→円安・投機マネー・新興国の台頭
- ◆ 食料自給率39% 政府目標45%は？TPPは・・・？
- ◆ 少子高齢化、過疎化による担い手不足。農業従事者年齢66.3歳（全国） 岡山県70歳
- ◆ 耕作放棄地の拡大。11,384ha（滋賀県の面積以上・後楽園約855個分）



世界の状況と、**今後** 予想されること…

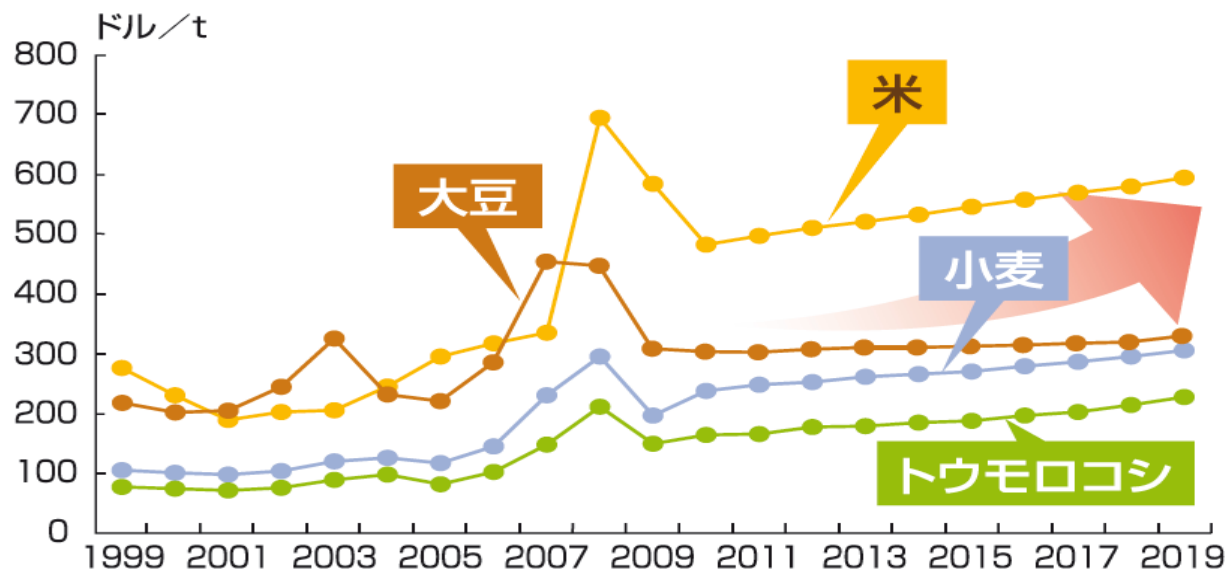
● いま、世界では

中国・インドなど人口大国の経済発展により食料の需要が増加。しかも、地球温暖化などで、水不足や天候不順が起こってます。



穀物の数量が足りなくなっ、国際価格が上昇!

穀物の国際価格の推移の予測



農林水産省HP「穀物の国際価格の推移の予測」のデータより



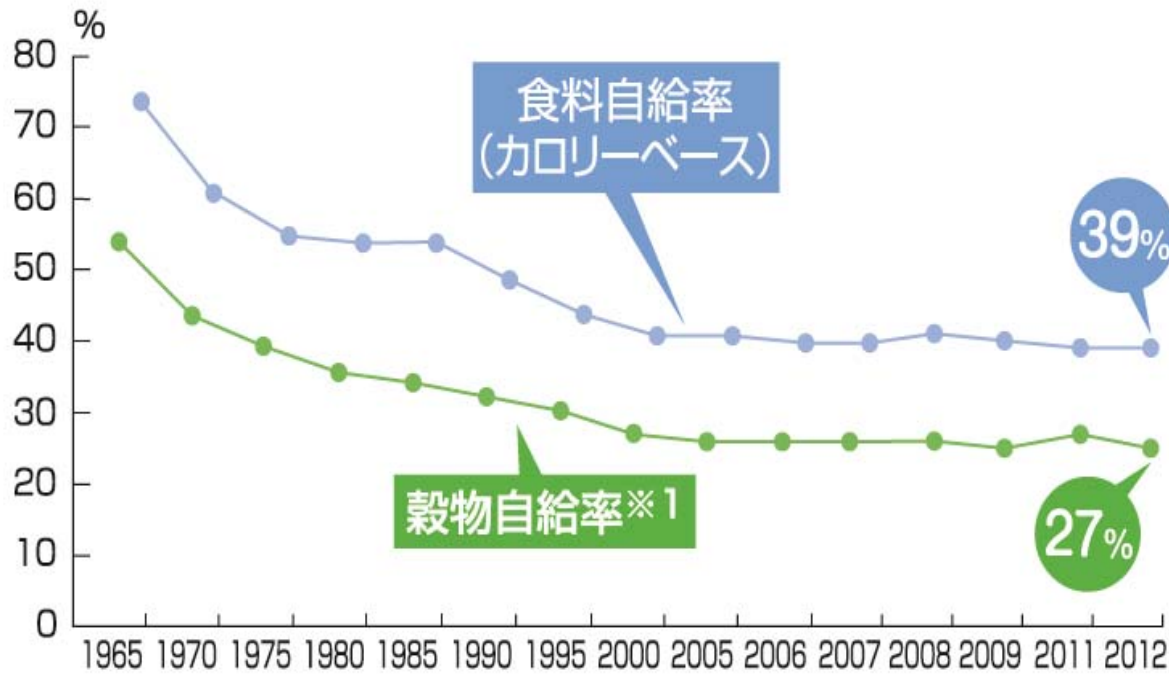
これじゃあ不安定で心配になるね。





日本の食料自給率の今…

日本の食料・穀物自給率の推移



農林水産省HP「食料自給率の推移」のデータより

【日本の食料自給率】

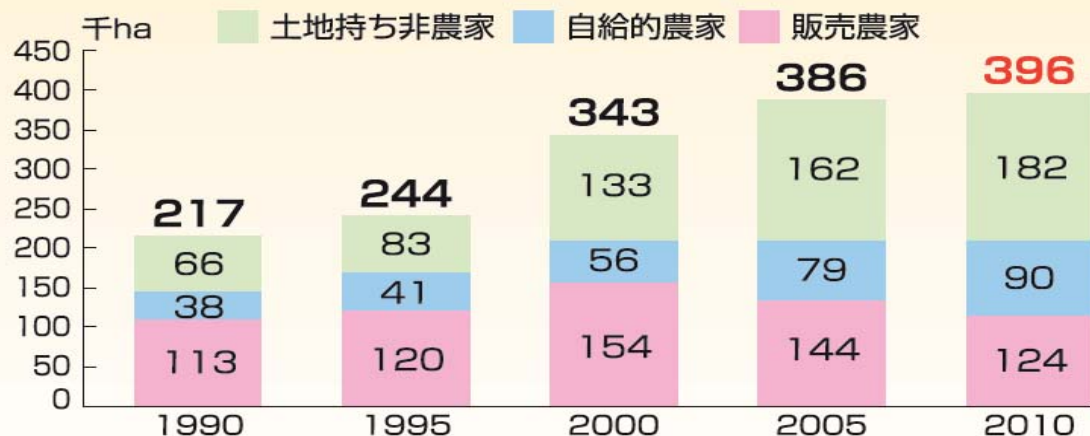
- 2012年度 **39%**
(カロリーベース)
- 食料の**約6割**が輸入
「食料自給率とは」
農林水産省HPより

【自給率低下の要因】

- 輸入自由化に伴う
生産縮小などによる
国内生産力の低下
- 食生活の**洋風化**

- ◆ 岡山県の食料自給率(カロリーベース)は37%(2012年度)

耕作放棄地の面積の推移



農林水産省HP「2010年世界農林業センサス結果の概要(概数値)」より

滋賀県と
同じくらい

休耕田が
すごく
増えてるのが
分かるわ!



耕作放棄地、岡山県では...

岡山県の耕作放棄地の面積は**11,075ha**。

農林水産省HP「2010年世界農林業センサス 農林業経営体調査報告書」より
後楽園(約13.3ha)の大きさでいうと、約832個分にもなります。

全国で
15番目の多さ
なの



だから...

これからは、輸入だけに頼らない取り組みが必要に!



これは
大事なことよ!



耕畜
連携

+

地産
地消

▶

食料
自給率
向上

みんなのつながりが
大事なのね。



2015 食料・農業問題と生協の課題

- ◆ 暮らしの変化に対応した事業の展開

- 【課題1】産直事業の展開

- 【課題2】国産原材料を使った加工食品などの開発・品揃えと普及

- 【課題3】食品の安全・安心の取り組み

- ◆ 組合員と生産者のつながりの強化、食育のとりくみの積極的展開

- 【課題4】組合員と生産者のつながり、コミュニケーション強化の活動

- 【課題5】食育の取り組みと食生活の改善

- ◆ 地域社会づくりへの参加、環境保全への貢献

- 【課題6】地産地消や6次産業化の取り組み、地域経済への貢献

- 【課題7】食料自給力強化の取り組み

- 【課題8】環境保全、資源循環、再生可能エネルギーの推進

重点商品運動

県内産でくらしに身近な商品の利用を促進

地産地消の推進

安全・安心で新鮮な産直品や県内産品を普及し、「産直」「地産地消」を推進

循環型農業の応援

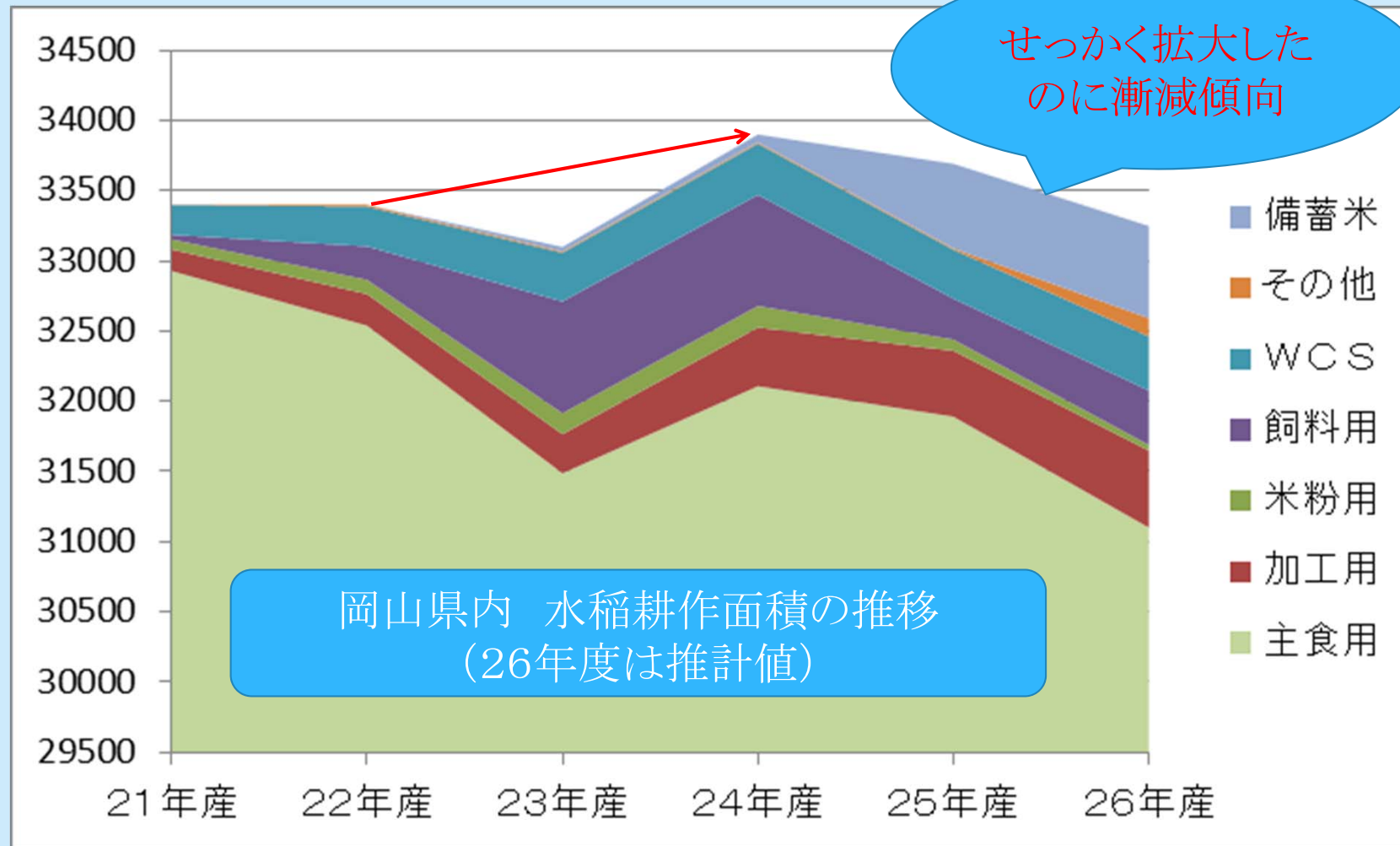
コープおかやま牛、コープこしひかり、生協牛乳などで、**耕畜連携、循環型農業を応援**

食料自給率向上

- **飼料用米を輸入トウモロコシの代替としてエサに配合**
- コープおかやま牛、生協牛乳にWCSを活用

飼料用米活用＝水田の利活用

◆ 飼料用米のとりくみを倍増させる計画です。



飼料用米

コープ産直こめたまご、コープおかやま豚、
コープおかやま牛、コープ岡山産若鶏あわせて **年間約2,000トン確保予定**



現在、輸入飼料の代わりとして注目されているのが、飼料用米です。文字通り、飼料利用を目的に栽培されているお米で、水田の有効活用、食料自給率の向上につながり、地域農業の活性化や環境保全の面でも注目されています。

WCS(飼料用稲) ホール・クropp・サイレージ

コープおかやま牛、生協牛乳、低脂肪牛乳あわせて **年間約63.7^(概算)ヘクタール**



WCS(飼料用稲)とは稲を育て刈り取って、円筒状にまとめて乳酸発酵させてつくられたもので、家畜のエサとして活用されます。乳酸発酵によって、ビタミンEの含有量が多くなり、肉色の保持効果が上がり、何より牛が喜んで食べます。

飼料用米とWCSの活用状況

飼料用稲(WCS)使用



コープおかやま牛

- ・奈義伍協牧場<奈義町>
- ・岡山JA畜産(株)田淵農場<新見市>

2013年度産
おかやまコープが
現在応援している地域の
WCS作付け面積(見込み)

約63.7ヘクタール
18.3%

生協牛乳 低脂肪牛乳

- ・瀬戸内地域
- ・岡山県西部地域

岡山県のWCS
総作付け面積(見込み)

約348ヘクタール
※2013年度産見込み/JA全農おかやま調べ

飼料用米配合飼料使用



コープおかやま豚

- ・岡山JA畜産(株)美星農場<井原市>
- ・岡山JA畜産(株)吉備農場<新見市>

2013年度産
おかやまコープが確保した
県産飼料用米

約900t
58.0%

コープおかやま牛

- ・奈義伍協牧場<奈義町>
- ・岡山JA畜産(株)田淵農場<新見市>

岡山県の飼料用米
総生産量(概算)

約1,550t

コープ岡山産若鶏

- ・(株)ウェルファムフーズ(旧 丸紅畜産(株))
岡山事業所<新見市・高梁市>

岡山県産以外
を含めると、**約2,000t**を確保予定!

飼料用米配合飼料使用



コープ産直こめたまご

- ・高梁市 / 3農場
- ・美作市 / 1農場
- ・赤磐市 / 1農場
- ・備前市 / 2農場
- ・鏡野町 / 1農場

※2014年3月現在

輸入トウモロコシや
輸入牧草などの代替として
活用するから、食料自給率の
向上につながるの。



飼料用米活用商品(1)

コープ産直こめたまご



- 県内8農場と提携し供給
- 飼料用米を20%配合

コープおかやま牛



- 県内2農場と提携し供給
- 飼料用米10%配合
- WCSの活用

飼料用米活用商品(2)

コープおかやま豚



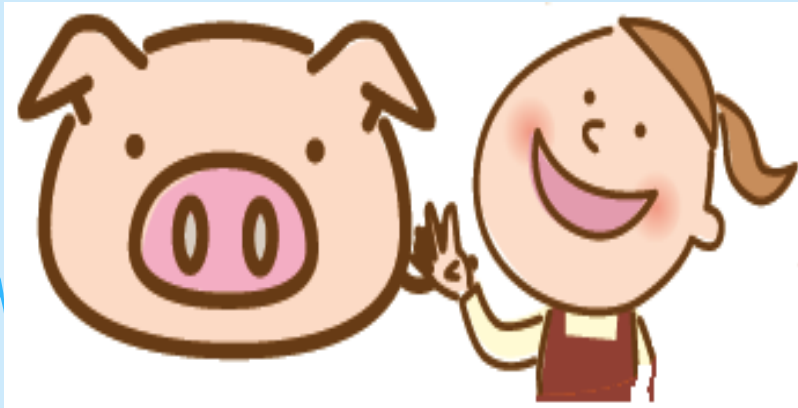
- 県内2農場と提携し供給
- 飼料用米を50%配合(予定)

コープおかやま若鶏



- 県内17農場と提携し供給
- 飼料用米10%配合

2016年度、飼料用米活用予定



配合比:50%
計画

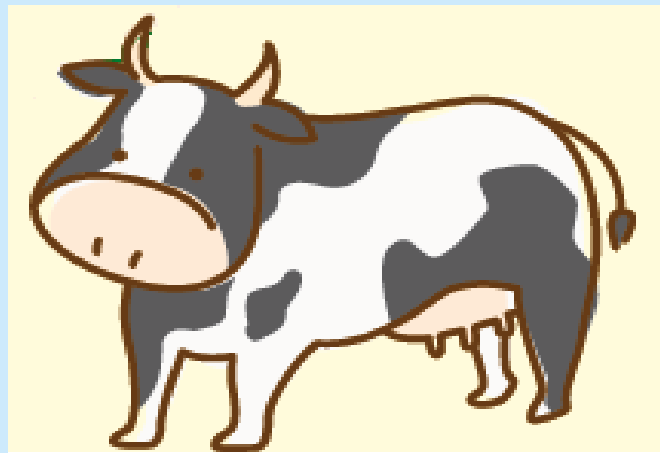


配合比:20%

3,100t
(県産2,250t)



**将来は4,000 t
~5,000 t を目
指す!**

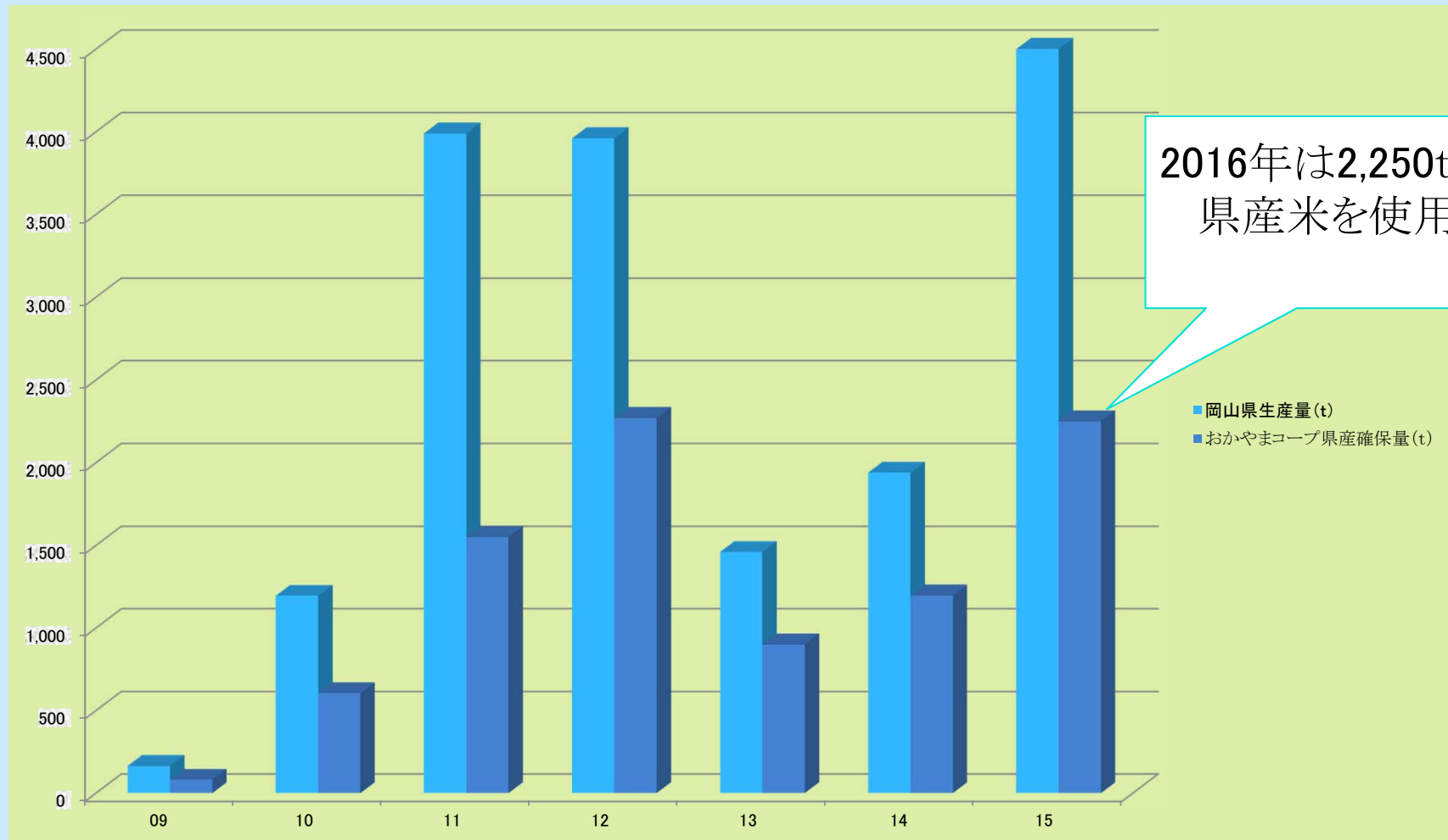


配合比:10%



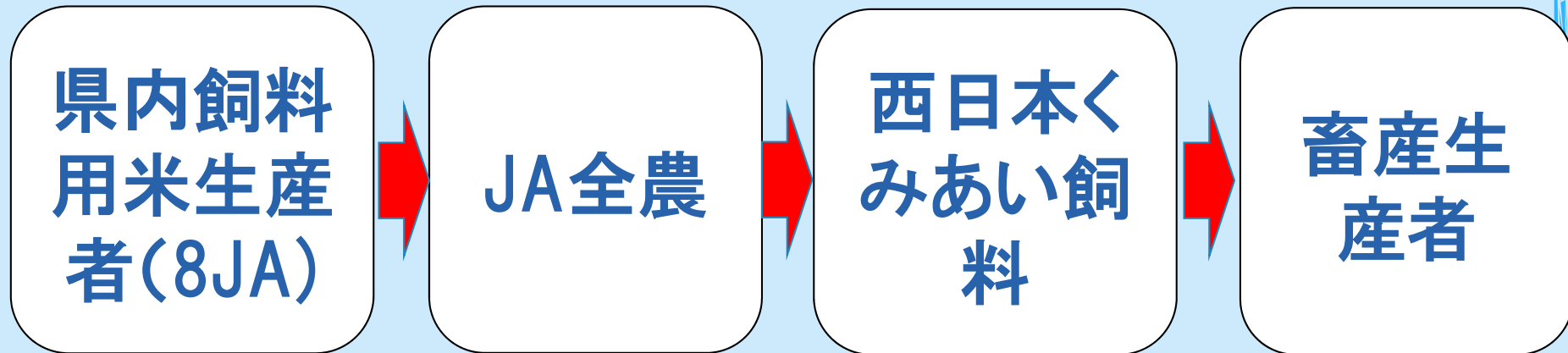
配合比:10%

県産飼料用米の活用状況

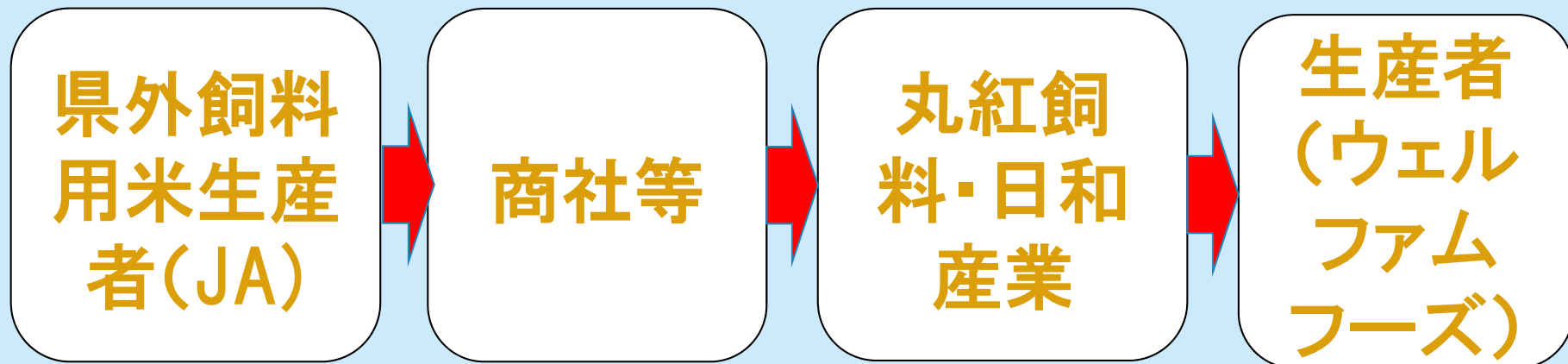


飼料用米の流れ

【産直のたまご・豚・牛】



【産直の若鶏】



若い生産者が育っています！



こめたまご生産者 山室さん



産直若鶏生産者 阿曾さん



産直牛生産者 奈義伍協牧場



産直豚生産者 JA畜産

県内JA訪問の取り組み

- ◆おかやまコープの商品開発と農業を結び付け、地域経済の活性化につなげる
- ◆産地の課題やニーズを掴み、おかやまコープと協働連携できるテーマを見つける
- ◆再生産可能な農業につながる商品づくりの応援する
 - 地産地消の推進、食文化の継承と消費の拡大、耕作放棄地対策、農業後継者育成など



飼料用米を全て県産で賄うことが目標！

事業と活動で一体となって推進

重点商品の学習

利用登録の推進

産地交流

生活基礎商品の
シェアをアップ

行事・イベント

地域社会づくりへの参加

組合員の取り組み

産地見学や学習会を通じて、生産者との交流と相互理解を深めています



人と人をつなぎ協働の取り組みを強め



点(商品)から
面(地域)への
とりくみへ

生産量と販売
量を一致させ

命をつなぐ
命をはぐくむ
活動として

今後の課題と方向性

- ◆ **1. 飼料用米の確保(県産米)**
- ◆ **2. 生産者の組織化(顔の見える関係作り)**
- ◆ **3. 飼料用米を活用した商品の普及拡大潜在的は一**
 - **4,000t程度の活用が見込める？**
 - **うるち米供給量と合わせて6,000tを視野**
- ◆ **4. 飼料用米活用商品の生産者の維持確保**
 - **おかやまコープに留まらず多くの畜産業者、養鶏業者、小売業者と連携が必要**

ご清聴ありがとうございました。

